

(1) 法人にあってはその登記事項証明書
登記事項証明書 別紙のとおり

(2) 主として販売する物品の種類
届出書別記1のとおり

(3) 建物の位置及びその建物内の小売業を行うための店舗の用に供される部分の配置を示す図面
別紙 図3建物配置図、図6求積図のとおり

(4) 必要な駐車場の収容台数を算出するための来客自動車の台数等の予測の結果及び算出根拠

① 小売店舗に係る必要駐車台数の算出根拠

原単位区分	係数等	算出根拠
日来店客数（人） $A(a \times b)$	1,464人	指針の算定式、係数による 下妻市令和7年11月1日現在の人口41,136人 人口10万人未満・店舗面積5千㎡未満 1100-30b
店舗面積当たり日来店客数原単位(人／千㎡) a	1,058人／千㎡	
店舗面積（千㎡） b	1.384千㎡	
ピーク率（%） B	14.4%	
自動車分担率（%） C	80%	
平均乗車人員（人／台） D	2.0人／台	
平均駐車時間係数 E	0.627	
必要駐車台数 $A \times B \times C \div D \times E$	53台	人口10万人未満 その他地区 店舗面積10千㎡未満 店舗面積10千㎡未満 $(30+5.5 \times b) / 60$

② 小売店舗以外の施設に係る駐車台数
無

(5) 駐車場の自動車の出入口の形式又は来客の自動車の方向別台数の予測の結果等駐車場の自動車の出入口の数及び位置を設定するために必要な事項

① 方面別自動車台数予測値等

来客方面	日来台数予測値	ピーク 1 時間 来台数予測値	入庫入口	摘 要
北方面 (Aルート)	152 台／日	21 台／時	駐車場出入口 2	商圏を計画地より半径 1.5km と設定し、商圏エリア内の地域を各町丁別に 5 ルートに分割し方面比率により算出した。
東方面 (Bルート)	76 台／日	11 台／時	駐車場出入口 1	
南方面 (Cルート)	147 台／日	21 台／時	駐車場出入口 1	
西方面 (Dルート)	47 台／日	7 台／時	駐車場出入口 1	
北西方面 (Eルート)	164 台／日	24 台／時	駐車場出入口 2	
合 計	586 台／日	84 台／時		

別添交通計画書 7、8 頁のとおり

② 出入口別入庫処理能力

出入口箇所	入庫処理能力	ピーク 1 時間 来台数予測値	左折入庫 の有 無	右折入庫 の有 無	出庫車等との動線分離の有無		
					出庫車	自転車	歩行者
出入口 1	450 台／時	39 台／時	有	無	有	有	有
出入口 2	450 台／時	45 台／時	有	有	有	有	有

別添交通計画書 8 頁のとおり

※入庫処理能力はゲート、発券ブース等の設置がない為、既存店舗実績より 8 秒と設定した。

③ 入口駐車待ちスペース

入口箇所		駐車待ちスペース (m)	必要な駐車待ちスペース	
			長さ (m)	算出根拠
a	駐車場出入口 1	0	-38.76	$(0.65 \times 1.6 - 7.5) \times 6$
b	駐車場出入口 2	0	-37.8	$(0.75 \times 1.6 - 7.5) \times 6$

④ 交通量調査及び立地後の予測結果

調査地点	調査日時（時間帯）	調査結果	予測結果
交差点 1	【休日】 令和7年7月13日（日） 8時～23時	2017台／時	2107台／時
	【平日】 令和7年7月14日（月） 8時～23時	2509台／時	2599台／時

調査地点	調査日時（時間帯）	調査結果	予測結果
交差点 2	【休日】 令和7年7月13日（日） 8時～23時	824台／時	902台／時
	【平日】 令和7年7月14日（月） 8時～23時	1089台／時	1167台／時

調査地点及び結果については、別添交通計画書のとおり

⑤ その他必要な事項（①～④以外に必要と判断される事項を適宜記入して下さい。）

(6) 来客の自動車を駐車場に案内する経路及び方法

① 自動車の案内経路・案内表示

・施設周辺見取図 別紙「図 2 周辺見取図」のとおり

② 交通整理員の配置状況（配置する場合にのみ記入して下さい。）

配置位置	配置人員	配置曜日	配置時間帯
駐車場出入口 1	1 人	必要に応じて適宜、配置	
駐車場出入口 2	1 人		

・施設建物配置図 別紙「図 3 建物配置図」のとおり

(7) 荷さばき施設において商品の搬出入を行うための自動車の台数及び荷さばきを行う時間帯

時間帯	荷さばき車両		廃棄物回収車両
	4 t 以下	10 t 以上	
6 : 00～7 : 00		1	
7 : 00～8 : 00		1	
8 : 00～9 : 00			
9 : 00～10 : 00			1
10 : 00～11 : 00			1
11 : 00～12 : 00			
12 : 00～13 : 00			
13 : 00～14 : 00	1		
14 : 00～15 : 00	1		
15 : 00～16 : 00			
16 : 00～17 : 00			
17 : 00～18 : 00			
18 : 00～19 : 00	1		
19 : 00～20 : 00			
20 : 00～21 : 00	1		
合計	4	2	2

※1台当り平均荷さばき時間 4t 20 分/台 、10t 30 分/台

※同時作業可能台数 1 台

(8) 遮音壁を設置する場合にあっては、その位置及び高さを示す図面

	高さ	厚さ	材質・構造	位置
防音壁①	2.0m	53mm	鉄・アルミ	店舗南側（予測地点 D 北側）
防音壁②	2.0m	53mm	鉄・アルミ	店舗東側（予測地点 B 南側）

・防音壁の詳細位置は、別紙騒音予測に関する図面（図 5）のとおり

(9) 冷却塔、冷暖房設備の室外機又は送風機を設置する場合にあっては、それらの稼働時間帯及び位置を示す図面

設 備 名	設置位置	稼働予定時間帯
空調室外機 (S-1, S-2) (S-3～S-13)	1階 屋根上	午前8時30分から午後10時30分まで
給排気口 (F-1, F-2)	1階	午前8時30分から午後10時30分まで
冷凍室外機 (R-1～R-6)	屋根上	24時間
キュービクル (C-1)	屋根上	24時間

・発生源位置図 別紙騒音予測に関する図面（図 5）のとおり

(10) 平均的な状況を呈する日における等価騒音レベルの予測の結果及びその算出根拠

① 個別騒音予測

騒音発生源			騒音レベル (dB)	根 拠	騒音継続時間及び 騒音発生回数
定 常 騒 音	F-1	ファン	39.5	メーカー値	8:30～22:30
	F-2	ファン	39.5	メーカー値	8:30～22:30
	C-1	キュービクル	59.0	規格値	24時間
	R-1	冷凍室外機	59.0	メーカー値	24時間
	R-2	冷凍室外機	59.0	メーカー値	24時間
	R-3	冷凍室外機	51.5	メーカー値	24時間
	R-4	冷凍室外機	52.5	メーカー値	24時間
	R-5	冷凍室外機	51.5	メーカー値	24時間
	R-6	冷凍室外機	52.5	メーカー値	24時間
	S-1	空調室外機	50.0	メーカー値	8:30～22:30
	S-2	空調室外機	50.0	メーカー値	8:30～22:30
	S-3	空調室外機	63.0	メーカー値	8:30～22:30
	S-4	空調室外機	63.0	メーカー値	8:30～22:30
	S-5	空調室外機	63.0	メーカー値	8:30～22:30
	S-6	空調室外機	63.0	メーカー値	8:30～22:30
	S-7	空調室外機	63.0	メーカー値	8:30～22:30
	S-8	空調室外機	63.0	メーカー値	8:30～22:30
	S-9	空調室外機	63.0	メーカー値	8:30～22:30
	S-10	空調室外機	63.0	メーカー値	8:30～22:30
	S-11	空調室外機	63.0	メーカー値	8:30～22:30
	S-12	空調室外機	63.0	メーカー値	8:30～22:30
	S-13	空調室外機	58.0	メーカー値	8:30～22:30

- ・発生源位置図 別紙騒音予測に関する図面（図5）のとおり
- ・予測計算方法 別添騒音予測結果報告書のとお

② 予測地点別合算結果

予測地点	予測値 (dB)		地域類型	用途地域	環境基準 (dB)	
	昼間	夜間			昼間	夜間
A	49.6	40.6	C 類型	無指定	60dB	50dB
B	47.4	36.9				
C	44.0	32.9				
D	54.2	39.1				

- ・予測位置図 別紙騒音予測に関する図面（図5）のとおり
- ・予測計算方法 別添騒音予測結果報告書のとおり

評価

全ての予測地点について環境基準を満足しています。よって、周辺環境への影響は軽微であると判断されます。

近隣住民から騒音に関する苦情があった場合は、誠意をもって対応します。

(11) 夜間において、大規模小売店舗の施設の運営に伴い騒音が発生することが見込まれる場合にあっては、その騒音の発生源ごとの騒音レベルの最大値の予測の結果及びその算出根拠

夜間最大値：店舗敷地境界

騒音発生源			騒音継続時間 または 騒音発生回数	基準距離の 騒音レベル (dB)		予測 地点	予測地点 までの 距離 (m)	距離 減衰量 (dB)	回折 減衰量 (dB)	予測地点に おける 騒音レベル (dB)	用途地域及び 規制基準			
				レベル (dB)	根拠						用途地域	規制基準		
定 常 騒 音	F-1	ファン	8:30～22:30	39.5	メーカー値	a12	2.0	6.0	—	33.5	無指定	50dB		
	F-2	ファン	8:30～22:30	39.5	メーカー値	a13	2.0	6.0	—	33.5				
	C-1	キュービクル	24時間	59.0	規格値	a5	13.3	22.5	—	36.5				
	R-1	冷凍室外機	24時間	59.0	メーカー値	a3	8.5	18.6	—	40.4				
	R-2	冷凍室外機	24時間	59.0	メーカー値	a4	8.5	18.6	—	40.4				
	R-3	冷凍室外機	24時間	51.5	メーカー値	a10	14.6	23.3	—	28.2				
	R-4	冷凍室外機	24時間	52.5	メーカー値	a11	14.7	23.4	—	29.1				
	R-5	冷凍室外機	24時間	51.5	メーカー値	a10	16.3	24.2	—	27.3				
	R-6	冷凍室外機	24時間	52.5	メーカー値	a11	16.2	24.2	—	28.3				
	S-1	空調室外機	8:30～22:30	50.0	メーカー値	a1	1.3	2.3	—	47.7				
	S-2	空調室外機	8:30～22:30	50.0	メーカー値	a2	1.3	2.3	—	47.7				
	S-3	空調室外機	8:30～22:30	63.0	メーカー値	a3	10.0	20.0	—	43.0				
	S-4	空調室外機	8:30～22:30	63.0	メーカー値	a4	10.0	20.0	—	43.0				
	S-5	空調室外機	8:30～22:30	63.0	メーカー値	a6	14.5	23.2	—	39.8				
	S-6	空調室外機	8:30～22:30	63.0	メーカー値	a7	14.5	23.2	—	39.8				
	S-7	空調室外機	8:30～22:30	63.0	メーカー値	a8	14.5	23.2	—	39.8				
	S-8	空調室外機	8:30～22:30	63.0	メーカー値	a9	14.5	23.2	—	39.8				
	S-9	空調室外機	8:30～22:30	63.0	メーカー値	a6	16.5	24.3	—	38.7				
	S-10	空調室外機	8:30～22:30	63.0	メーカー値	a7	16.5	24.3	—	38.7				
	S-11	空調室外機	8:30～22:30	63.0	メーカー値	a8	16.5	24.3	—	38.7				
	S-12	空調室外機	8:30～22:30	63.0	メーカー値	a9	16.5	24.3	—	38.7				
	S-13	空調室外機	8:30～22:30	58.0	メーカー値	d1	25.1	28.0	—	30.0				
騒音発生源			騒音継続時間 または 騒音発生回数	基準距離の 騒音レベル (dB)		予測 地点	予測地点 までの 距離 (m)	距離 減衰量 (dB)	回折 減衰量 (dB)	予測地点に おける 騒音レベル (dB)				
				レベル (dB)	根拠									
変 動 騒 音	車1	来客車両等走行音	(21+1) 台/日×往復	82.0	手引き	1	2.9	9.2	—	64.8				
	車2	来客車両等走行音	(21+1) 台/日×往復	82.0	手引き	2	8.9	19.0	20.1	34.9				
	車3	来客車両等走行音	(21+1) 台/日×往復	82.0	手引き	3	8.3	18.4	20.2	35.4				
	車4	来客車両等走行音	(21+1) 台/日×往復	82.0	手引き	4	8.6	18.7	20.2	35.2				
	車5	来客車両等走行音	(21+1) 台/日×往復	82.0	手引き	5	8.8	18.9	20.2	34.9				
	車6	来客車両等走行音	(21+1) 台/日×往復	82.0	手引き	6	9.3	19.4	20.1	34.5				
	車7	来客車両等走行音	(21+1) 台/日×往復	82.0	手引き	7	13.6	22.7	19.8	31.5				
	車8	来客車両等走行音	(21+1) 台/日×往復	82.0	手引き	8	23.3	27.3	19.5	27.1				
	車9	来客車両等走行音	(21+1) 台/日×往復	82.0	手引き	9	21.4	26.6	—	47.4				
	車10	来客車両等走行音	(21+1) 台/日×往復	82.0	手引き	10	14.4	23.1	19.3	31.5				
	車11	来客車両等走行音	(21+1) 台/日×往復	82.0	手引き	11	9.3	19.4	19.7	34.9				
	車12	来客車両等走行音	(21+1) 台/日×往復	82.0	手引き	12	7.9	17.9	—	56.1				
	車13	来客車両等走行音	(21+1) 台/日×往復	82.0	手引き	13	8.1	18.2	—	55.8				
	車14	来客車両等走行音	(21+1) 台/日×往復	82.0	手引き	14	8.5	18.5	—	55.5				
	車15	来客車両等走行音	(21+1) 台/日×往復	82.0	手引き	15	9.1	19.2	—	54.8				
	車16	来客車両等走行音	(21+1) 台/日×往復	82.0	手引き	16	10.1	20.1	—	53.9				
	車17	来客車両等走行音	(21+1) 台/日×往復	82.0	手引き	17	4.1	12.2	—	61.8				

予測の結果、車1、車12～車17で規制基準を超える結果となった。

基準を超える騒音源について、県道を挟んだ向かいの保全側敷地境界で予測を行った結果を以下に示す。

夜間最大値：保全側敷地境界

騒音発生源			騒音継続時間 または 騒音発生回数	基準距離の 騒音レベル (dB)		予測 地点	予測地点 までの 距離 (m)	距離 減衰量 (dB)	回折 減衰量 (dB)	予測地点に おける 騒音レベル (dB)	用途地域及び 規制基準	
				ハ・ワ・レ・ベ・ル (dB)	根拠						用途地域	規制基準
変 動 騒 音	車1	来客車両等走行音	(21+1)台/日×往復	82.0	手引き	1'	18.9	25.5	—	48.5	無指定	50dB
	車12	来客車両等走行音	(21+1)台/日×往復	82.0	手引き	12'	23.8	27.5	—	46.5		
	車13	来客車両等走行音	(21+1)台/日×往復	82.0	手引き	13'	24.2	27.7	—	46.3		
	車14	来客車両等走行音	(21+1)台/日×往復	82.0	手引き	14'	24.5	27.8	—	46.2		
	車15	来客車両等走行音	(21+1)台/日×往復	82.0	手引き	15'	25.2	28.0	—	46.0		
	車16	来客車両等走行音	(21+1)台/日×往復	82.0	手引き	16'	26.2	28.4	—	45.6		
	車17	来客車両等走行音	(21+1)台/日×往復	82.0	手引き	17'	19.9	26.0	—	48.0		

- ・予測位置図 別紙騒音予測に関する図面（図5）のとおり
- ・予測計算方法 別添騒音予測結果報告書のとおり

評価

予測の結果、保全側敷地境界で規制基準を満足しています。
 よって、周辺環境への影響は軽微であると判断されます。
 店舗開店後に、近隣住民から騒音に関する苦情があった場合は、誠意をもって対応します。

(12) 必要な廃棄物等の保管施設の容量を算出するための廃棄物等の排出量等の予測の結果及びその算出根拠

廃棄物種類 原単位区分			紙製 廃棄物等①	金属製 廃棄物等②	ガラス製 廃棄物等③	小 計 ①+②+③
1 排日 出当 予た 測り 量 (t)A	面積6,000㎡ 以下の部分	排出量原単位 a	0.208	0.007	0.006	
		店舗面積 b	1.384千㎡			
		小計 (a×b=c)	0.288	0.010	0.008	
	面積6,000㎡ 超の部分	排出量原単位 d				
		店舗面積 e				
		小計 (d×e=f)				
	計 (c + f)		0.288	0.010	0.008	
廃棄物等の平均保管日数 (日) B			1	1	1	
廃棄物等の見かけ比重 (t / ㎡) C			0.10	0.10	0.10	
廃棄物等の必要保管容量 (㎡) A × B ÷ C			2.88	0.10	0.08	

廃棄物種類 原単位区分			プラスチック 製廃棄物等④	生ごみ等⑤	その他の可燃 性廃棄物等⑥	小 計 ④+⑤+⑥	
1 排日 出当 予た 測り 量 (t) A	面積6,000㎡ 以下の部分	排出量原単位 a	0.02	0.169	0.054		
		店舗面積 b	1.384千㎡				
		小計(a×b=c)	0.028	0.234	0.075		
	面積6,000㎡ 超の部分	排出量原単位 d					
		店舗面積 e					
		小計(d×e=f)					
	計 (c + f)		0.028	0.234	0.075		0.337
廃棄物等の平均保管日数 (日) B			1	1	1		
廃棄物等の見かけ比重 (t / ㎡) C			0.01	0.55	0.38		
廃棄物等の必要保管容量 (㎡) A × B ÷ C			2.8	0.43	0.20		3.43

合 計 ①+②+③+④+⑤+⑥	6.49
-----------------	------

※排出予測量6.49㎡に対し、廃棄物保管容量は13.5㎡なので充足します。

指針に基づく配慮事項

駐車需要の充足等交通に係る事項について

○駐車場の位置及び構造等

指針必要台数 53 台に対して、収容台数 63 台を確保し十分に充足します。

○駐輪場の確保等

収容台数	必要台数の算定根拠：年間の平均的な休祭日のピーク 1 時間に必要な台数
20 台	既存店舗であるドラッグコスモス堀町店の実績より算出 ドラッグコスモス堀町店駐輪場収容台数 40 台 店舗面積 1,182 m ² 休日ピーク駐輪場在庫台数 6 台（15 時台） 本計画店舗面積 1,384 m ² 店舗面積比 $1,384 \text{ m}^2 \div 1,182 \text{ m}^2 = 1.17$ 堀町店休日ピーク駐輪場在庫台数 6 台 $\times 1.17 = 7$ 台 既存店舗実績より本計画必要駐輪台数は 7 台のところ 20 台設置する計画です。

※市町村自転車駐車場附置義務条例：なし

○自動二輪車の駐車場の確保等

なし

○荷さばき施設の整備等

荷さばき施設は専用スペースとします。

○経路の設定等

（来客自動車の経路設定）

主要な道路を通り、店舗周辺道路に与える影響の少ないと考えられる経路を設定としました。
また、出入口の見通しが良く、安全面にも配慮しています。

（搬出入車両の経路設定）

営業時間内の荷さばき計画については、来退店車両が少ない時間帯で設定しております。
来客用出入口を利用しますが、ドライバーには安全運転を周知徹底します。また、荷さばき施設へは前進で入庫し、作業後は従業員等が誘導します。

歩行者の通行の利便の確保等について

停止線の設置、止まれの路面標示、繁忙時の交通整理員の配置など。

廃棄物減量化及びリサイクルについて

過剰な梱包を控え、ゴミの減量化に努めます。

防災・防犯対策への協力について

○防災対策

災害時には、行政の依頼に出来る限り対応いたします。
敷地内、駐車場内に防犯カメラを設置いたします。

○防犯対策

店員による巡回を適宜行います。

○青少年の非行防止対策

店員による巡回を適宜行います。
地域防犯活動に出来る限り協力します。

騒音の発生に係る事項について

○荷さばき作業における騒音対策

荷さばき施設は段差のない構造とし、昼間の作業のみとします。
作業員への騒音防止の意識を高めます。

○附帯設備における騒音対策

室外機は屋上設置とします。
低騒音タイプ設備機器を設置します。

○駐車場における騒音対策

段差のない構造の平面駐車場とし、アイドリングストップを呼びかける看板等を設置します。

○その他の騒音対策

定期的に設備機器のメンテナンスを行い、異常音等が発生しない様に努めます。
店舗開店後に騒音に関する苦情等が発生した場合には、誠意をもって対応します。

廃棄物に係る事項について

○廃棄物等の保管方法

保管庫内の整理整頓を日常的に行います。
臭気が発生しないよう建物内に廃棄物保管施設を設置します。

○調理臭等の発散防止

調理臭等は発生しません。

街並みづくり等について

建物の色は原色を控えます。

光害の防止について

不必要に強度な照明は控えます。

地域貢献活動について

地域行事、防犯・防火、地域防災活動の店内告知、場所の提供等の要請があればできる範囲内での実施を検討いたします。